

# 地域のわ通信

Kanagawa-ku  
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

## 第5期 神奈川区地域づくり大学校

### 第1講

#### 開 催 概 要

日時：9月7日（土）9:30～14:30

場所：神奈川区役所 大会議室 AB

主催：神奈川区連合町内会自治会連絡協議会 / 認定 NPO 法人市民セクターよこはま / 神奈川区役所

協力：社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会

受講生：18名（当日参加は16名）



「住んでいて良かった！」と思える地域を自らの手で実現することを目的に、地域課題を解決する手法を区内外の事例を交えて学び合う「神奈川区地域づくり大学校」（以下、「大学校」）は、5期目を迎えました。自治会町内会等の地域活動を支える人材を育成することをテーマに、講義、グループワーク、区内の現地見学から地域づくりを実践的に学ぶことに加え、区外の先進事例を見学するプログラムを盛り込み、さらに充実した内容になっています。

佐藤区連長



高田区長



吉原事務局長  
(市民セクターよこはま)



今年は、10代から80代までの幅の広い世代の18人の受講生が参加しています。開校式では、協働する3者から挨拶があり、「何事もスタートするまでが大変。ここに参加することを決心しただけで成功したようなものです。この大学校を地域活動の道筋を整える場として活用してください」と激励がありました。その後、初回の緊張をほぐし、受講生同士が知り合うために、自己紹介タイムを設けました。受講生全員で輪になり、①住んでいる町名 ②名前 ③受講動機 ④最近の良かった事を紹介し合いました。

◆ 講義「神奈川区の地域づくりに向けて」

社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会  
高橋 博之 事務局長



受講生が今後の地域活動を考える上で必要になる、横浜の地域組織の歴史、社会福祉協議会の地域での役割、神奈川区が抱える課題などをお話いただきました。受講生は、「地域ケアプラザの地域での役割の大きさを知りました」「区社協の役割がわかった」などの感想があり、多くの気づきを得た講義になりました。

◆ 卒業生による受講体験談

大学校 第1期卒業生 /みどりと水を守り育てる「地域環境向上委員会」 田中揚子氏



田中さんには、現在取り組まれている「街なみ花物語」の活動紹介、大学校に参加したきっかけや「夢プラン」の実現に向けてどのように取り組んだのか、そして活動の根っことなる原体験などについて、受講生に向けて熱いメッセージをいただきました。受講生からは「活動を進める上でたくさんの人に関わってもらった大切さを知った」「『夢プラン』が夢ではなくなる実行力がすばらしい」「共感することの重要性を感じた」などの感想がありました。

◆ グループワーク：自己を語る



- ① 大学校への意気込みや学びたいこと
- ② どのような地域をつくりたいか
- ③ 人生のターニングポイント
- ④ 地域活動や趣味の活動

お互いに4つのテーマで語り合い、交流を深めました。受講生の感想は「自治会やPTAの活動の話が聞けてよかった」「若い人が参加する自治会は活気がある」というものでした。

ランチ交流会



白樂にあり、精神・知的障がいを抱える人たちの就労支援活動を行っている「NPO 法人一の会」のお弁当を食べながら、楽しく交流しました。